

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 7 月 22 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	16 人	2 人	0 人	18 人

前回の改善計画
初回利用時には特に、当日いなかった職員に分るように詳細にケースの様子を記載 (動作面や日中の様子だけでなく、嗜好品や飲み物の好み等も含め) し、情報共有を行っていく。また、午後等時間のある際には利用者ともっと関わりを持ち、利用者の思いや不安等を把握し、しっかり関係作りを行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
詳細なケース記載を心がけ、情報共有も昨年以上に出来ている。利用者の思いや不安等の把握もしっかり傾聴等をしっかり行っているも、時間にゆとりないことも多く、十分とはいえない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	16	0	0	19
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7	11	1	0	19
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	12	0	0	19
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	10	0	19

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ミーティングなどで事前情報や手順の情報共有ができている。また時間を見て本人の情報を探るため声掛けを行ったり、不安や心配なことを傾聴するようにしている。さらにケース記録の詳細な記入を心掛け、連絡ノートやミーティングを活用し、本人の情報やニーズを共有するように努めている。他スタッフとも連携を取り、初めての訪問時、既に援助に入ったスタッフと同行訪問するなど、ゆっくり余裕をもって対応するようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
初回時より早い段階で関わりを持ちたいが、勤務の関係も含めなかなか関わりが持てないこともある。また、午後の時間の時間の使い方も不十分な面あり (利用者との交流などに十分に時間をさけなかった)。本人の能力と家族の思っている能力に差あり、本人の必要としている支援かわからなく、家族にもうまく状況を伝えきれていない。また家族の声ばかりで本人の声聞こえない為、家族本位のサービスになりがちになっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
初回時より1週間という短い期間でなく、1か月といった長い期間で情報を集め共有したり家族との関係を作っていく。また、家族と連絡取りにくい方もいられるため、特変時などは、ケアマネを通し家族などに上手く説明していくという流れを作る (ケアマネをうまく活用していく)。ミーティング等を通じ午後の時間の使い方を検討・評価していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 22 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 10 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	16 人	2 人	0 人	18 人

前回の改善計画
しっかりケアプランを読み内容を把握できていない。もっと分かりやすくケアプランの内容を共有できる方法を検討する必要がある (書式の変更や、一覧の作成も含め検討する)。

前回の改善計画に対する取組み結果
以前よりケアプラン詳細化されており、内容の把握しやすくなり、ミーティング時においても情報共有が以前より出来るようになった。さらにケース記録の際にケアプランをチェックするようになり、以前より目を通すことが多くなったので本人のゴールも分かってきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	7	12	0	19
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	12	0	19
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	13	0	19
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	8	8	0	19

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアプランを小規模計画に落とし込み、枝番をつけ細かくケースに記入し、把握・共有し、ミーティングを使い話し合い、情報共有をしっかりと行い、次に活かせるよう努力しているまた、小規模計画から目標やそのための関わり方を理解しようとしている。体調に合わせてプランを変更するなどミーティング等でしっかりできている。また、ミーティングはもちろんのこと、日常的にもモニタリングを行い評価されている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人と家族の目標に開きがありすぎる方もいられ、どのように実践していけばよいかわからなくなることもあり。個々によってかかわれる時間違ったり、すれ違いもあり、日々の関わりが出来ない時あり。また、一部の目標に対し実践を行っていないケースあったり、あまりできない点のほうが多い方もいる。特に時間の制約なある利用者だと、目標を目指した関わりが出来ないことがある (時間配分上手くない)。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ケアプラン重複やあいまいな点もあり、ミーティングで検討していく。また、ケース記録の際見出しを活用し、もっと明確化し、気づきへつなげていく。朝、申し送りし一日の流れを話ある (毎日出来るものではないが、可能な日は行っていく)。アクティブの内容も職員全員がうまく把握できていない為 (内容・保管場所・進捗状況、次に何をしたら良いかわかりにくい) メモを残すなど工夫していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 7 月 26日 (14 : 30 ~ 15 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	15 人	3 人	0 人	19 人

前回の改善計画
ミーティング前、参加でいない人の意見を予め聞いておき、意見を反映していく。また、ケースの書き方が統一されていない。記入例などを作り統一していく。また、ケースの特記事項にしっかり見出しをつけ、それを活用していく。また、職員間で共有ノートなどを活用し、些細なことからも書式に残し、前日の様子や体調などを共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
ケース記録の記入の仕方のマニュアルを作り統一した。また以前より細かく書かれているため、様子わかりやすくなった。ただ、また、標準化されていないところもあり、活用しきれていない(見出し事項の見出しづけなど)。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	6	7	6	19
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	13	0	0	19
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	5	5	19
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	15	0	0	19
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	14	1	0	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	体調に合わせた食事の提供(食事形態の変更含め)し臨機応変に対応できている。体調変化時や状態がいつもと違うなど、少しの変化にたいして、職員同士声を出し合い、職員・NSと常に情報共有できている。また共有ノートなどを活用し、情報の共有などにより統一化した対応が取れている。しっかり傾聴し観察し気持ちや体調の変化に対処している。また、声なき声についても表情や行動から抽出するように心掛けている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	ミーティング時参加できない職員の意見を予め聞くことなかなかできていない。憶測になりがち細かい思考などには対応出来ていない所もある。また、本人の声にならない声を理解できているか不明なこともある。余裕のないときは特に、「ちょっと待って」とついつい言いがちになったり、利用者の気持ち等に鈍感になってしまう。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	記録紙の「アクティブ・その他」わかりにくい。体調等記入できるような枠名に変更検討していく。また「見出し」の理解不足な面もあり、ミーティング等で話し合っていく。ケースの排泄書き方あいまい(量など)、ミーティングで統一を図っていく。また便・尿量などあいまいな際は文章にして記録していく。勤務表にミーティングのリーダー印ついているため、あらかじめ意見があるか、不参加者に確認しておく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 28 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	0 人	11 人	8 人	19 人

前回の改善計画	資源マップはセンターにあるも、全く活用できていない。勉強会などを活用し、情報の共有や資源への理解を深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	資源マップはほとんど活用されていない。勉強会なども行われず、理解不足な面あり。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	11	2	6	19
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	3	10	6	19
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	8	6	19
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	7	12	19

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者によって差はあるが、本人のこれまでの生活スタイル等は事前の情報や家族・本人との関わりで少しずつ理解できている頃が多い。また地域資源と繋がりがあの方が、介護保険のサービスの利用をきっかけに今までの地域とのつながりがなくならないよう配慮している。地域の行事や、近隣の他事業所での行事には職員と利用者が参加し、地域との繋がりが続くようにしている。自事業所の行事の案内文を地域の回覧板で回してもらっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりが少なくなってきたり、本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域資源を把握できていない。 ・援助外の時間、本人が自宅でどのように過ごしているのか把握が難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・年間の研修計画に地域資源の勉強会を組み入れる。 ・地域資源を職員全体で理解し、より良い支援につなげる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 28 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	0 人	12 人	7 人	19 人

前回の改善計画
資源マップがセンターにあるも、職員一人一人がしっかり内容を把握できていないのが現状のため、勉強会などを活用し地域資源への理解を増やし、支援の際等に活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
資源マップなどほとんど活用していない。勉強会の開催など取組み不足な面あり。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	1	15	3	19
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	15	2	1	19
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	17	0	0	19
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	16	1	0	19

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・必要に応じ、ミーティングや話し合いを持ちながら、出来るだけ今までの自宅での暮らしを継続できるように努力している。話し合った内容や利用者の変化には連絡ノートやケース記録を活用し、共有できている。その日の状態の変化や、ニーズに合わせた柔軟な支援ができている。・自事業所だけではカバーできない面は、他の職種・他事業所と連携を図りながら支援している。・利用者だけでなく家族の変化に合わせた対応もその都度行っている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・家族のニーズには対応できているが、利用者本人にニーズに合った対応はあまり出来ていない。・地域資源に活用まで皆に導入されていない部分も多い。・通い・利用者多く、今後従来通りの柔軟な対応ができるかわからない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・年間の研修計画に地域資源の勉強会を組み入れる。・地域資源への理解を深め、より柔軟な対応ができるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 7 月 28日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	8 人	6 人	19 人

前回の改善計画
もう少し噛み砕いた説明会などを行い、こちらからしっかり情報を配信するなど啓発活動を強化していく。また、地域の人が気軽に来れるような環境作りを行っていく必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果
・「まちなね」を開催し、積極的な啓発活動を始めているが、参加者がまだ少なく、継続的な取り組みが必要。 ・地域の人が気軽に来れるような取り組みはあまり行われず、センターを訪れる方も少ない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3	3	6	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	3	8	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	10	5	3	19
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	2	8	9	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
「まちなね」の開催で、啓発活動や地域とのつながりができ始めている。 ・地域で行われてる行事（クリーン作戦・コミセン行事）に積極的に参加するようにしている。 ・クリーン作戦後のお茶飲みを、今までのセンター裏ではなく、センター前の駐車場でいい、地域の方にセンターの雰囲気を感じてもらうことができた。また、担当者会議等で他サービス機関と連携している ・個人ではなく施設全体でどうやって地域の情報を発信していくか、話し合っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・登録車以外の地域の方が来られることが少ない。 ・イベントなどがあると地域の方が来てくださることもあるが、少なく、決まった方が多い。ふらっと訪れられる雰囲気作りが足りない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・「まちなね」の活動で多職種や他サービス機関との連携ができ始めているので、その関係を深めていけるよう活動をしっかり継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 3 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

7. 運営

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	12 人	1 人	19 人

前回の改善計画	センター全体の中で、事業のあり方や設立の流れ等をしっかり学び、地域にある意味等を考え、話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	昨年よりは改善できている(情報発信等)もまだまだ浸透率が低いのが現状。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	4	7	3	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	11	2	1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	3	3	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	6	9	4	19

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者・家族からの意見、苦情に対しては細かく対応し職員間で話し合いの機会を設け情報共有に努めている。そこから良いケアが提供できるよう努めている。また地域と協働した取り組み「まちなね」を開催、運営推進会議や広報、介護教室等で事業所(サービス内容)についての情報発信をしている。介護教室のエリア増に伴い情報提供の場が増えてきている。防災訓練等で地域への連絡はできている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
まだまだ地域の拠点であることへの理解・把握が低く、地域の方からの意見等はほとんどない状況。また職員として事業所の在り方について意見を述べる機会が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域からの理解を深めるため「まちなね・介護教室」等を活用しひとりひとりが情報提供に努める必要がある。その場での意見を基に今後の展開に繋げていく。まずセンター位置を含め、地域に向け情報を発信し浸透させる。(イベント・行事の際広報を活用して情報発信する。)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 3 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	9 人	人	18 人

前回の改善計画
4月に1年分の職場研修の予定を作っている。計画ができた際にはミーティングを行い、研修内容や流れについてなどしっかり周知・話し合いを行う(何をどう行ったらよいのか、曖昧なことある為)。また外部研修に行っても、行ってっていない職員には研修内容が周知されていない為、ミーティング等でしっかり内容を報告・共有し、各職員のスキルアップに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
職場研修(勉強会)や外部研修の参加にて各職員のスキルアップに繋がっている。しかし研修後の報告(学習会)に活かされず報告書のみ情報共有が多くなってしまっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	9	6	2	19
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	5	6	8	19
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	1	11	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	4	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	定期的な研修の実施にてスキルアップに努めている。経験年数、資格等に合わせた研修への参加ができている。また必要時ミーティングにて評価→改善に努めている。 リスクマネジメント(事故対策委員会)からの議事録は回覧し全職員が情報共有し注意喚起できている。 コミセンの地域連絡会にできるだけ出席している。(管理者)

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	研修後の報告が書面のみでの周知になりがちである。(ミーティング時研修担当職員不在にて) 地域連絡会(町内総会)が管理者のみの参加で各職員内容把握に至っていない。 月例ミーティング(こぶし園全体の研修)への参加が少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	研修後の学習会が報告書面のみになりがちのため別途で時間を設けるかして職員全体に周知・把握して頂く。 地域連絡会の参加有無を含め内容把握に努める。 月例ミーティングに積極的に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 3 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	8 人	10 人	0 人	19 人

前回の改善計画
ケースを閉まっている柵の扉が開いていくことが多い。その都度意識を持ち閉める。また多数のケースをテーブル上に出すのではなく、一人ずつ一つを柵からだし、書いたらしまう等の対応も必要。排泄の有無など直接的過ぎる言葉には注意が必要。職員一人一人が、しっかり個人情報管理やプライバシー保護の意識を今以上に高く持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果
ケース関係についてはまだまだ改善できておらず、「つつい」「また書くから」「すぐ使うから」等の意識の緩みあり。排泄の直接的言動についても急いでいたりすると直接的な表現を使ってしまいがちになる。まだ全体的に意識づけができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	7	1	0	14
②	虐待は行われていない	10	4	0	0	14
③	プライバシーが守られている	3	9	7	0	19
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	4	2	5	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	9	2	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	身体拘束・虐待については研修をきちんと行っており、腸瘻のためミトン拘束の方（同意書あり）はミーティングを行い解除に向け取り組みを行っている。本人に直接的に関わる際（排泄援助）のプライバシー保護はしっかり守られている。またミーティングについては今まで小規模フロアにて行っていたがプライバシー配慮のため現在は特養フロア（利用者等いない状態）にて行っている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	前回の改善計画内容が活かされていない。（上記前回の改善計画に対する取組結果から）プライバシー全体からの観点について職員一人一人の意識がまだ低い。 成年後見制度は現利用者で使用している方はいない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	再度改善計画に対する意識づけをしっかり行い配慮に努める。 成年後見制度は現在使用しないため研修等行い知識を深める。 通い・宿泊利用者増に伴いベッド数に限りあり。男女同室という状況もあり、プライバシー保護のためパーテーション、カーテンを設置する。